

平成 28 年 10 月 吉日

一般社団法人 日本建設業連合会 御中

一般社団法人日本塗料工業会

一般社団法人日本サッシ協会

一般社団法人日本シャッター・ドア協会

## 鉛酸カルシウムさび止めペイントの JIS 廃止の件

貴連合会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

早速ですが、表題の件に関しましてご連絡申し上げます。

既にご承知の通り、平成 28 年版公共建築工事標準仕様書及び同改修工事標準仕様書から「鉛酸カルシウムさび止めペイント (JISK5629)」が削除されました。

それに伴い経済産業省に対して、一般社団法人日本塗料工業会より JISK5629 の廃止申請を進めておりましたところ、日本工業標準調査会にて審議 (本年 9 月 26 日) の結果、JIS 廃止の答申が出されました。答申後は、11 月末日を目途に、官報にて JISK5629 の廃止が公示される見通しです。

廃止公示後は、JIS 製品としての「鉛酸カルシウムさび止めペイント」の製造ができないため、塗料メーカーの在庫が無くなり次第、供給が停止します。更に一部塗料メーカーでは、既に 10 月末日をもって本品の製造を終了する旨を各納入先へ通知しております。

上記状況により、平成 25 年版公共建築工事標準仕様書及び同改修工事標準仕様書が適用されている建築工事では、ドア及びシャッター等のスチール建材製品の生産・出荷に大きな支障が生じます。

つきましては、代替品として平成 28 年版公共建築工事標準仕様書及び同改修工事標準仕様書に採用されております、日本塗料工業会規格 JPMS28 「一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント」のご採用を早急にご検討願います。

なお、本代替品は主要塗料メーカー各社で既に商品化されており、供給体制は整っています。上塗り適合性・価格等については、各メーカーにお問い合わせ願います。

以上、ご案内いたします。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。